

# 地域医療連携センターだより

Vol.1

発行  
令和1年8月1日

兵庫県立丹波医療センター

〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7 TEL : 0795-88-5200 (代表)

## 新たな地域医療のモデル構築を目指して

兵庫県立丹波医療センター 院長 秋田 穂東

柏原赤十字病院は84年の歴史に、また兵庫県立柏原病院も66年の歴史に終止符を打ち、令和元年7月1日に両病院は統合し兵庫県立丹波医療センター（TMC）と丹波市健康センター“ミルネ”に生まれ変わりました。9月には丹波市立看護専門学校も移転し、いよいよメディカル・コンプレックスの完成となります。

7月1日の患者移送も無事に終了し、7月3日には主な医療機器の搬送も終了しました。移転前後には、医師会の皆さま、また地域住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

丹波医療センター（TMC）は27診療科を標榜し、急性期204床、地域包括ケア45床、回復期リハビリテーション45床、緩和ケア22床、第二種感染症4床の320床を有します。急性期から回復期また終末期までの幅広い医療を提供するユニークな病院となります。新たに血液浄化室（透析室）を15床、血液疾患を対象にしたクリーンルームを2室新設いたしました。手術室は4室から6室へ、HCUも4床から6床に増やし、救急部門は初療室3室と診察室3室（感染症に対応する陰圧室1室を含む）をもち、屋上にはヘリポートを設置し、設備を充実し重症患者の受け入れを積極的に行います。MRI、CT、血管造影装置、超音波装置、放射線治療装置など最新の医療機器を今回新たに導入し、最高の医療が提供できる体制が整いました。

丹波市健康センター“ミルネ”では総合診療外来だけではなく在宅医療と健康増進にも関わり、丹波医療センター（TMC）と一体的に機能させます。両施設はハイブリッド施設として、今までにない広範な医療と健康・福祉・介護の連携のonly oneの地域医療のモデル構築を目指していきます。

“教え学びを病院の文化”とし、地域医療を担う医療人の育成に努めてまいります。教育こそが、世界標準の最良で安全・安心の医療を提供する手段であり、今後も医学教育で勝負する病院をめざしてまいります。統合を契機に、全国から多くのメディカルスタッフが集う“地域医療のメッカ”になることを期待しています。

スタッフ全員がベクトルを同じくして、目標達成に向け全力で頑張りますので、皆様方にはご支援のほどよろしくお願いいたします。

2019年7月1日

# 開院





## 各部署のご案内 ▶▶▶

## ① 歯科口腔外科

歯科医師 竹内 純一郎

当科では、地域の医療機関からご紹介頂いた口腔外科疾患や一般の歯科医院では治療困難な全身疾患を有する方の診療を行っています。

口腔外科疾患とは、親知らずの抜歯、口内炎などの粘膜疾患、顎や口腔内に発生する良性腫瘍・嚢胞、顎関節症、歯・顎の外傷、むし歯や歯周炎で顔が腫れたなどの歯性感染症です。特に、脳梗塞・心筋梗塞・糖尿病などの疾患を有する方の抜歯などに際しては、必要に応じてより安全に治療が行えるように短期間の入院管理下で行っています。障害者歯科治療では、歯科麻酔科医の協力の下、全身麻酔下、鎮静下での歯科治療を行っています。

地域の医療機関と連携し診療を行っていますので、気になる症状がありましたら、まずは、かかりつけ医院でご相談下さい。但し、当科では義歯の作製やむし歯・歯周病の治療は、かかりつけ歯科医院にご紹介しています。

地域の皆様に信頼されるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願い致します。



歯科口腔外科のスタッフです！



## 各部署のご案内 ▶▶▶

## ② 血液浄化センター

丹波医療センターでは、令和元年 7 月の新病院開院に伴い、血液浄化センターを開設しました。血液浄化センターでは、急性腎不全・慢性腎不全の患者さんに対し、血液浄化療法を提供することにより包括的腎不全ケアを担います。また、緊急透析が必要な場合、HCUにおける持続血液濾過にも対応しています。血液浄化センターは 15 床あり、透析専門医山田医師を迎えて、月・水・金曜日に透析を実施しています。将来的には月～土曜日の透析を実施する計画です。丹波地域の医療へ貢献できるよう引き続き努力して参りますので今後とも宜しくお願い致します。



## 各部署のご案内 ▶▶▶

## ③ 放射線部

放射線部では、7 月の開院に伴う機器整備で、CT・MR・血管造影装置を増設し、2 台体制としました。

CT は検出器 256 列を有し、今まで以上に短時間検査が可能となり、また Dual Energy 撮影により組成弁別や鑑別診断、血流評価が行えるようになりました。今後は被ばくの低減も図っていきます。

MR は 3T の機器を導入しました。特に脳血管をはじめとした頭部領域や膝・腰椎などの整形外科領域などにおいて高い解像度の画像が提供出来ます。

血管造影装置は、検出器 2 面の装置を導入し、心臓血管だけでなく、脳、腹部、四肢など全ての血管の検査・治療が高画質の透視で行えるようになりました。その他、マンモグラフィ装置、放射線治療装置、アイソトープ装置、X 線 TV 装置も更新しました。

放射線部では、安心安全な質の高い医療を提供できるよう技術の向上に努め、被ばく低減を図り、専門性の高い人材育成にも力を入れていきますので、今後ともよろしくお願い致します。



256 列 CT



パイプレン血管撮影装置



3TMR

## 各部署のご案内 ▶▶▶ ④ 検査部

私たち臨床検査部は、精度の高いデータをより迅速に報告するために最新の検査機器やシステムを導入し、365日24時間体制で業務にあたっています。特に外来採血室では静脈可視化装置を新規導入し、より安全な採血が可能となりました。そして、新たな認証システムにより患者照合や採血管チェックを容易にして待ち時間の短縮を図っています。また、血液腫瘍など遺伝子関連の検査体制を充実し、先進の医療にも対応できるようにしています。さらに、患者さんのプライバシー保護のための番号呼び出しシステムの新規導入など、検査フロー面でも随所に工夫を凝らしています。



静脈可視化装置

これからも様々な診療ニーズに柔軟に対応していけるよう努力していきたいと考えています。皆さまこれからもよろしくお願いいたします。



血液凝固自動分析装置



生化学自動分析装置



免疫自動分析装置

## 各部署のご案内 ▶▶▶ ⑤ 薬剤部

薬剤部では患者さんに安心して適切な薬物療法を受けていただくため、医薬品の適正使用の推進、患者サービスの向上、チーム医療の充実を3本柱として医薬品の有効性と安全性を確保し、適正な薬物療法を推進しています。新病院では、最先端の高度な調剤支援システムを種々導入することで、より正確かつ迅速な調剤業務（内服・外用・注射）や抗がん剤の調製が可能になるとともに、システムによる処方チェックの充実化等により、安全で安心な医薬品の提供（調剤）の推進を図ることができました。また、服薬指導支援システムや抗菌薬適正使用支援システム等の充実化に加えて薬剤部職員の増員により、服薬指導の業務範囲の拡大やチーム医療への積極的参加が可能となりました。特に抗菌薬適正使用支援チーム（AST）では、薬剤師が中心となって抗菌薬の適正使用推進に努めています。



薬剤部の皆さん大集合！

## 各部署のご案内 ▶▶▶ ⑥ 栄養管理部

栄養管理部では、入院および外来患者さんの栄養食事指導や入院患者さんの食事提供をはじめとした栄養管理全般を担当しています。当センターでは患者さんひとりひとりの病態に合わせた栄養管理のもと、適した食形態等で調理しています。県立病院で唯一真空調理を取り入れており、新たにチルド庫を調理室内に整備することで、中まで味が染み込んだふっくら軟らかい煮物や素材の味を活かした和え物などをさらにおいしく提供します。また調乳室と洗瓶室を完備することで、分注機による精度の高いミルクの分注が可能になりました。栄養食事指導は個別指導の他、各種教室として減塩教室（入院：第3木曜日、外来：第4水曜日）、糖尿病教室（隔月第4木曜日）、糖尿病教室食事会（毎月1回）、初期母親教室（第1木曜日）を実施しています。減塩教室では、減塩食の1品を、糖尿病教室食事会では1食分を実際に食べていただきます。これからも安全安心で美味しい食事の提供とともに、地域の皆様の生活習慣病などの改善や予防に向けた栄養指導等に努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。



各部署のご案内 ▶▶▶ ⑦ リハビリテーション部

丹波医療センター開院に伴い、リハビリテーション室の拡充、スタッフの増員と体制が強化されました。急性期から回復期のリハビリテーションと病院内外の多職種スタッフとの連携により、患者さんの在宅復帰・社会復帰への支援をさせていただきます。また、新しい機器や心臓リハビリテーションシステムも導入され、充実したリハビリテーションが提供できるようになりました。地域の皆様のご期待に添えるようスタッフ一同、一層の努力をしておりますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

→リハビリテーション室



→心臓リハビリテーション



各部署のご案内 ▶▶▶ ⑧ 看護部（地域包括ケア病棟）

地域包括ケア病棟では、入院治療後、病状が安定した方に対して安心してご自宅、あるいは介護福祉施設へ退院していただけるように支援を行います。もう少しリハビリが必要な方（病状は改善したが）、もう少し観察が必要な方、住宅改修や介護サービスの調整が必要な方等、在宅における介護者を支援するための入院が対象となります。また在宅療養されている患者さんのご家族を支援するために、レスパイト入院の受け入れも行っていきます。当病棟では、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士など多職種がご家族と協力して患者さんの退院支援、退院後のサービスについてサポートいたします。特に高齢者が多いこの地域では、退院後の生活を整えることが主要であり、私たちの役割であると考えます。患者さんにご家族が安心して笑顔で退院していただけるようチームで力を合わせて取り組んでまいります。

→5階東病棟



→ダイニング



各部署のご案内 ▶▶▶ ⑨ 地域医療連携部（入院センター）

入院センターでは、看護師や事務員が常時対応し、入院前に入院時の注意項目や手術・検査についての説明を行い、患者さんが安心して治療を受けられるように支援します。

従来は各科の外来や病棟で行っていた説明や身体的・社会的・精神的背景を含めた情報の把握を入院前に行うことで、患者さんや家族の抱える課題に早期に着手します。把握した情報や相談内容から、課題に応じて医療ソーシャルワーカーや薬剤師、管理栄養士等とも連携し、安心して入院生活を送ってもらえるようにするとともに、早期の退院支援にも取り組んでいます。



# 赤ちゃん 紹介



かけがわ 掛川 かなこちゃん



てらだ よう 寺田 葉くん



おの ふるか 小野 楓夏ちゃん



かわもと ほうと 川本 芳永くん



たなか ゆうか 田中 ゆうかちゃん



よねだ ゆうと 米田 悠隼くん



ほんじょう たいじゅ 本庄 泰樹くん



たむら はやと 田村 隼人くん

## 街

## 医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様にも良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！  
今号は、芦田内科（芦田兆先生）をご紹介します☆

### 芦田内科 芦田 兆 先生(柏原町)

今回は柏原町の芦田内科 芦田 兆先生を訪問させていただきました。先生は地元柏原高校のOBで、平成7年大学御卒業の後、県立尼崎病院で3年間研修。その後消化器内科を中心に高槻病院、神鋼病院で勤務され、平成26年10月よりお父様を手伝う形で芦田内科副院長として地元に帰られました。平成30年1月より院長に就任され現在に至っておられます。消化器内科、特に内視鏡の治療と人工透析を専門とされ、内科一般の診療に当たっておられます。日常診療で心掛けていることとして「地域の方々の健康を支える診療を行い、特に専門性が高い透析医療においても貢献していきたい、透析の患者さんとは接する時間が長く、より親身にスタッフ一同付き合っていきたい」と話されました。丹波医療センターに対しては、大きな病院が近くにてでき期待をしている、役割分担をして地域医療を支えたいとのコメントをいただきました。また若いDrに対しては、「最初数年の経験が宝であり、その後の医師人生を決定するので、食欲に勉強をして色々な経験を積んでほしい」と話されました。穏やかな表情で地元への貢献を話される姿はしっかりと地元に根を張った覚悟が感じられ、これからも連携を頂きたいとお願いをさせていただいた今回の訪問でした。（大野 記）



## がん相談支援センター に、ご相談ください

がんになっても、そうでなくても「がん」に関するいろいろな相談をおうかがいします。がん専門相談員（看護師）がご相談に応じます。

- 相談費用は無料
- 秘密は厳守いたします
- 当院受診の有無に関わらず利用可能



10月より  
「患者サロン」  
を再開します！

開設日・時間 月～金（祝日を除く）9時～17時（受付は16時まで）  
連絡先 兵庫県立丹波医療センター がん相談支援センター TEL0795-88-5200（代）

「がん相談」とお伝えください

外来診療担当表（令和元年8月）

診療科 \ 曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	一般・初診	藤井 康和 上田 康雅	石田 達郎 杉本 龍	見坂 恒明 合田 建 田村 証司	秋田 穂東	見坂 恒明 藤井 政佳	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。 ◎ 見坂医師の診察は、第3水曜は休診です。
	専門（初・再診）	河崎 悟 西崎 朗	新倉 悠人 星島 正彦	近藤 健介 佐藤 悠	杉崎 陽一郎 西崎 朗	板倉 崇泰 野村 雄大	
	予約再診		秋田 穂東 河崎 悟	藤井 康和	藤井 康和	田中 健雄	◎ 次の再診予約のあった患者様ののみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子			第2・4 荒井 克純		◎ 第2・4月曜 午後のみ・予約診察のみ
	呼吸器	山本 正嗣	小林 和幸			第2・5 西村 善博	
	不整脈 ペースメーカー		第2・4 午後 河崎 悟				
	糖尿病		藤田 泰功		竹内 健人		
	緩和ケア		板倉 崇泰		第4 14時～ 大橋 紳一郎	午後 板倉 崇泰	◎ 院内がん相談支援センターで予約された患者様ののみ
	化学療法 がん治療 支援	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	板倉 崇泰 板倉 崇泰	
	脳神経内科	原 敦					
	腫瘍・血液内科		北尾 章人 （腫瘍・血液）			井本 しおん （血液内科）	
	膠原病				第1・3・5 河野 誠司	永本 匠（第1・3・5） 三枝 淳（第2・4）	
	リウマチ内 肝臓 薬煙・睡眠無呼吸				上田 佳秀 星島 正彦		
	小児科	1 診	井上 真太郎	与茂田 愛	井上 真太郎	岡本 光宏	酒井 國安
2 診		太田 亮	荻野 加菜	太田 亮	荻野 加菜	西村 明紘	
3 診		西村 明紘	岡本 光宏			与茂田 愛	
専門外来（予約）		第2・4 内分泌 栗野 宏之	井上 真太郎		加藤 神奈	岡本 光宏	
慢性疾患			酒井 國安		太田 亮	荻野 加菜	
神経 健診/ 予防接種		第1・3 山口 宏 担当医 （予防接種）	担当医 （1ヶ月健診）	担当医 （1ヶ月以後健診・シナジス健診）			
外科	一般・消化器	美田 良保	鈴木 知志	藤田 恒憲 岡副 佑城	坂本 浩輝	大野 伯和 雑賀 裕士	
	乳腺外科	岸 淳彦		岸 淳彦		岸 淳彦	
整形外科	上本 晴信 担当医	芝 昌彦 吉田 慎	上本 晴信	芝 昌彦 吉田 慎	上本 晴信 担当医		
リハビリテーション科	上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	◎ リハビリ訓練（要予約）は毎日実施	
脳神経外科	能勢 明德	10時～ 頃末 和良	吉田 真一郎	14時～ 田村 昌吾	桑島 琢允	◎ 木曜 受付時間 12:30～15:00 診療時間 14:00～16:00	
皮膚科		林 ちさ	村田 洋三	小野 竜輔	村田 洋三	◎ 診療開始時刻 林医師 9時30分	
泌尿器科	吉村 光司	山崎 隆文	吉村 光司	山崎 隆文	担当医	◎ 金曜 受付時間 10:30まで	
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	中島 由貴	白國 あかり	中島 由貴	
	2 診 周産期	出口 雅士	白國 あかり	望月 慎介	丸尾 原義	交代制	◎ 午後のみ・予約診察のみ
眼科	9時30分～	棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆	金光 聖隆	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9時30分 ◎ 林医師は予約診察のみ
			林 一	第1・3・5 林 一	堂脇 雄音	午後 林 一	
耳鼻咽喉科	交代制 （藤尾/小松）	藤尾 久美 小松 弘和	藤尾 久美	小松 弘和	柿木 章伸	小松 弘和	◎ 月曜 受付時間 11:00まで
放射線科	一般	楠 直明 山本 雄也	楠 直明 山本 雄也	楠 直明 山本 雄也	楠 直明 山本 雄也	楠 直明 山本 雄也	◎ 予約診察のみ
	リニアック		西川 遼			坂口 俊也	
歯科口腔外科	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	◎ 他医療機関等からの紹介患者および障害者（要介護の方を含む）のみ

編集後記

7月1日、新病院開院に伴い、地域医療連携室から「地域医療連携センター」と改め、この度第一号となります「地域医療連携センターだより」を発行しました。より一層患者さん、ご家族からの要望や相談、入院から退院後の生活支援まで対応させていただくと共に、診療をはじめとする最新情報の発信に努めて参ります。今後ともよろしくごお願い致します。

